

瑞岩寺報

2022.01.01
(令和4年 睦月)

【正月号】

お正月総合案内

お正月ご祈祷法要

お正月は毎日、天地が招福除災を祈念する大般若ご祈祷を勤行します。

お正月は前年の悪を反省し、新たな年の誓いを立てる、年初めにふさわしい行事です。

ご祈祷は左記の通り行われます。

厄年厄除・病氣平癒・交通安全・良縁成就・開運厄除・家内安全・無事成就・商売繁盛・学業成就・試験合格などのご祈祷のお申し込みは同封の申込書をお寺まで持参されるか、ファックス(0276-37-5535)してください。申込用紙はホームページからダウンロードできます。ご希望日時をお書きください。

【期 日】 1月元日(土)

1月2日(日)

1月3日(月)

【時 間】

午前9時・10時・11時

午後1時・2時・3時 〆の6回

【ご祈祷料】

ご祈祷木札(特大) 20,000円

ご祈祷木札(大) 10,000円

ご祈祷木札(中) 5,000円

ご祈祷紙札(小) 3,000円

【お願い】

- 一、お願い毎は二つまでにしてください。
- 一、ご祈祷札にはお守りがつきます。
- 一、法要にはなるべく本人がご参加ください。
- 一、希望の方には郵送しますので申し込み書にお書きください。

年始参詣

【期 日】 1月元日〆3日

【時 間】 午前7時頃〆午後5時まで

※本堂にて新年の挨拶をされた方に、瑞岩寺の新年祈祷札と令和4年度カレンダーをさしあげます。是非、皆様お揃いで気軽にお出かけください。

お年賀冥加金を同封させていただきました。ご本尊様へお気持ちをお供えいただければと存じます。

合 掌

【お願い】

- 一、マスクの着用をお願いします。
- 一、三密を避け、最小人数で参拝願います。

お墓そろうじ

瑞岩寺にお墓のある方へのご案内です

【期 日】 12月26日(日)

【時 間】 午前7時から

お正月が近づいてきました。お墓のお掃除をしましょう。この暮のうちに仏壇をきれいにしてお供え、お花を飾り準備を整え、元日早朝、若水を汲み供え、一家そろって仏壇に手を合わせ、よき新年をお迎えになることは、私たちの善行の始まりだと思います。さらに、お寺に参拝してご先祖様に感謝の誓いを祈ることこそ意義深い

初詣でになると思います。一斉お墓掃除を上記のごとく行います。たまには早起きしてお墓掃除も気持ちいいものです。お子さんやお孫さんといっしょにどうぞ。

◆強制ではありません。また、上記以外の日や時間でも結構です。

◆自分のお墓の掃除が終わったら、通路など共有の場所のお掃除も積極的にお願いします。

◆飲み物はお寺で用意してあります。

(住 職)

厄年早見表

◇からだの変わり目◇

	後 厄	本 厄	前 厄
男の大厄 42歳	昭和55年	昭和56年	昭和57年
女の小厄 37歳	昭和60年	昭和61年	昭和62年
女の大厄 33歳	平成元年	平成2年	平成3年
男25歳の厄年	平成9年	平成10年	平成11年
女19歳の厄年	平成15年	平成16年	平成17年
幼児4歳の厄年	平成30年	令和元年	令和2年
男女61歳の厄年	昭和35年	昭和36年	昭和37年
13歳詣り	男女平成22年		

『黙って聴いてあげることって本当はスゴイ!』

二〇二二・十一・十五

みなさんは、日本で一番お参りの多いお寺はどちらかご存知でしょうか？

そうです。日本で一番の参拝者の多いお寺、、、それは、浅草の浅草寺です。コロナ禍のため昨年今年減少しましたが、通常年間ナント3000万人の日本中世界中の方々が参拝や観光に訪れている東京最古のお寺(628年建立)です。東京都民が3回づつお参りする計算になります!!!

テレ朝の『ぶっちゃけ寺』でも一緒に一緒にさせていただき、当瑞岩寺でも法話までしていただきました塩入亮乗さまも浅草寺の僧侶であられ、浅草寺境内の塔頭にお住まいでした。浅草なので有名な落語家の方のサインも沢山ありました。きっと、お檀家さまなのでしょう。

しかし、なぜ浅草寺には、これほどの参拝者がいるのでしょうか？

もちろん、もともと「関東武州の平安を祈る」「現世利益が叶う」とか、「仲店が楽しそう」「観光業も宣伝やPRをしている」などなどあるでしょう。

さらに、歴史的の縁起には飛鳥時代(628年)に檜前浜成・竹成兄弟が隅田川に漁撈中、はからずも一鉢の観音さまのご尊像を感得され、郷司土師中知が、この聖観世音菩薩さまであることを知り深く帰依出家し、礼拝供養に生涯を捧げられ、さらに、大化元年(645)、勝海上人がこの地においてになり、観音堂を建立し、夢告によりご本尊をご秘仏と定められ、以来今日までこの伝法が守られているという大変な由緒と歴史と伽藍があります。

この秘仏は、塩入先生も見たことがないとおっしゃっておられました。きっと、その秘仏の御力もあることでしょう。

しかし、本当にそれだけでしょうか？実は、日本人が一番好きな仏像が、「観音様」なのです。

そして、日本で一番詠まれるお経も「般

若心経(観音さまのお経)です。

仏教で一番尊いお経も「観音経」といわれております。

ここに共通するのが、すべて「観音さま」なんです。なぜでしょうか？

「観音」とは「音を観(み)る」ホトケ(化身佛)です。普通「音は聴くもの」ですが、理科の授業では、1秒間に音は330メートル進みます。しかし、「音」が「観(み)れば」もっと、早く到達できるでしょう。

つまり、人の悩みや苦しみにもっとも早く到達するホトケさまが「観音さま」なのです。

最近、ラジオ番組で、パーソナリティの女性が、コロナ禍のため自宅で引きこもりがちなりスナーに、「誰に一番会いたいですか?」という質問に多くの方が答えておられました。

多くは、「田舎に住むご両親」とか、「遠方の恋人」「友人」「兄弟」などと答えていました。

その後、パーソナリティの女性が「では、その理由は何でしょう?」という問いかけに対して、すべての人がナント同じ答えでした!

一体何だったと思いますか?

それは、、、、「私の話をだまって聴いてくれる人」です。

まさに、これが「浅草の観音さま」が日本一お参りされる本当の理由だと私は思います。人間だれしも、「自分をまるごと受け入れてもらった上で、話を黙って聴いてもらいたい」ものです。だから、日本人は観音さまが一番好きなのでしょう。まさに、これが「観音信仰」です。

瑞岩寺の御本尊さまも「十一面観音さま」です。境内にも「聖観世音菩薩さま」や、「白衣観音さま」「子育て観音さま」があります。

仏像や石仏ですから、もちろん「質問し

ても何も答えません」当たり前です。

しかし、実は多くの人は古来から、弱い自分のこころを前向きに奮い立たせ、悩みや苦しみを「観音さま」に「黙って聴いて欲しくて」手を合わせていたのではないのでしょうか?

我が宗祖道元禪師さまは、「衆生本来仏なり」という仏教の教えに疑問を抱き、「なぜ、本来から自分が仏なら、わざわざ比叡山で修行する必要があるのか?」と思ひ、その疑問が晴れないので、わざわざ中国まで行かれお悟りを開かれました。

道元禪師さまのお悟りとは、「仏とは自分自身の中に本来から宿っている。しかし、修せざればあらわれず、証せざれば得ることなし」とおっしゃられました。

つまり、「仏は宿っているが、怠けたり墮落していれば、佛は現れない。そして、それがさとり(証)にいたらければ得ることも難しいだろう」と仰ったのです。

数年前に、鎌倉の臨濟宗円覚寺管長の横田南嶺さまが、曹洞宗の当寺で講演いただいたことがありました。それだけでも驚きなのに、管長さまのお言葉がとても素敵でした。

「今日は観音さまのお話をさせていただきました。そして、最後に『延命十句観音経』というお経をみなさんと一緒に三遍お唱えさせていただきました。この長い法話を黙ってお聴きいただいたみなさまお一人お一人がすでに観音さまです。どうぞ、そのようなお気持ちで日々をお過ごしくださいますようお願い申し上げます。」

とこのようにおっしゃられたのです。世の中は、YouTubeや、SNS、ツイッターやFacebookなど発信するソーシャルメディアは発達しましたが、なぜか幸せ感日々薄れるばかりです。

本日は、「あなたの話をすぐそばで、心から黙って聴いてくれる」そんな人が実は一番大切なかけがえのない人(観音さま)なのかも知れませんよ。

瑞岩寺 住職 長谷川俊道 合掌

お知らせ

◆podcast

『HASEの金曜は聴きこみ寺』(旧・こまつた時の聴きこみ寺)

毎週金曜日好評配信中!

群馬県・太田市にある瑞岩寺の住職

HASEの一風変わったトーク番組。毎週

金曜日、未知なる「寺スタジオ」に素敵な

ゲストをお迎えします!

インタビューであるHASEが、「住

職」という枠を超えて、あんなことやこ

んなことを聴いていきますよ!

さあ、金曜は寺スタジオでゆったりま

たりゲスト対談をお楽しみください。

【お便りは】

www.zuiganji.comのホームページまで

ペンネーム、年齢、性別とともにお送りくだ

さい。

・ iTunesでお聴きになる方には、

↓ <https://podcasts.apple.com/us/podcast/id1572553191>

【HASEへの質問・お悩み相談は】

info@zuiganji.comまで

ペンネーム、年齢、性別ととも

にお寄せください!

ポッドキャストの聴き方は

以下を参考にしてみてください!

さい!



一人一人がかけがえのない存在だから 普く人に仏さまの智慧と慈悲を

宗教法人 慈眼山 瑞岩寺

群馬県太田市矢田堀町388
TEL:0276-37-1231/FAX:0276-37-5535
E-mail:info@zuiganji.com
Website:http://www.zuiganji.com

ブログ <http://ameblo.jp/zuiganji/>

- ◇御意見、御要望はいつでもお知らせください。
- ◇お身体をお大切に、お健やかにお暮らしくださいませ。
- ◇み仏さまの御加護を心からお祈りいたします。 合掌